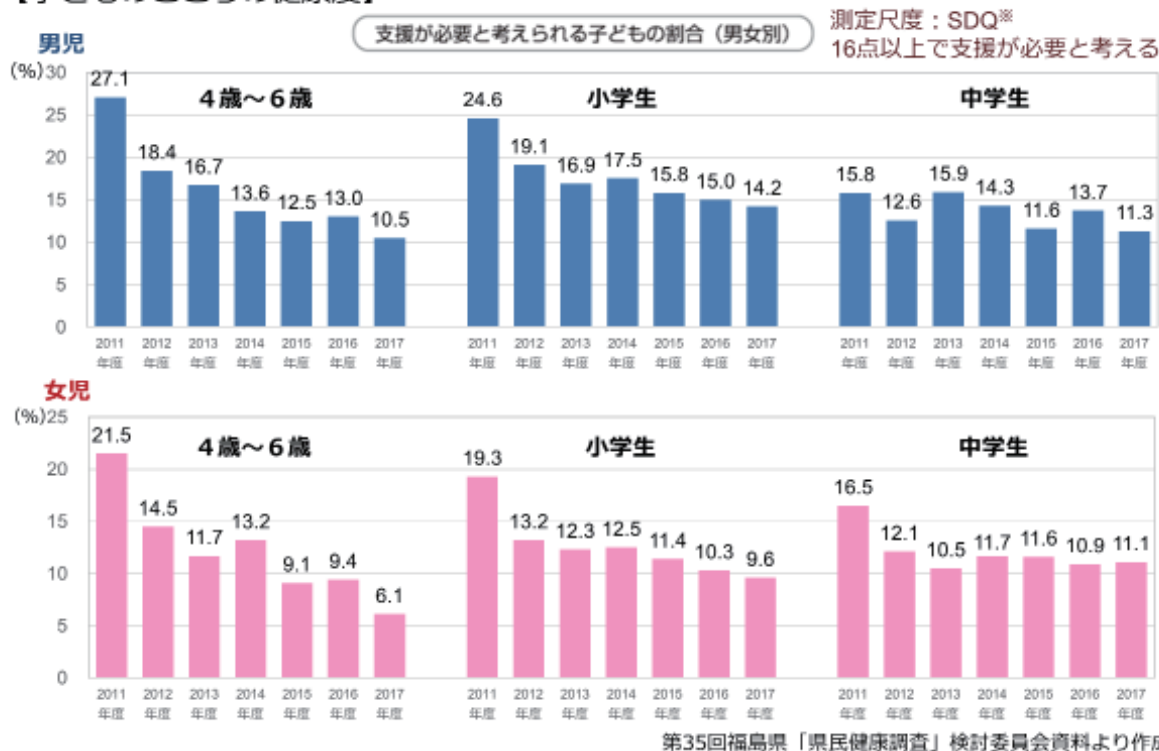


【子どものこころの健康度】



子どものこころの健康度を評価する尺度としてSDQ¹を用いています。

日本の先行研究 (Matsuishi et al., 2008) におけるSDQ16点以上の割合の9.5%と比較すると、2017年度調査では4～6歳の女児を除く全ての群でハイリスクの子どもの割合は、今なお高い状況です。

2017年度調査では、2011年度調査と比較してSDQ高得点の割合は全ての区分で減少しましたが、2012年度調査と比べると改善度の幅が小さくなり、ほぼ横ばいでした。

1. SDQ (Strengths and Difficulties Questionnaire)：子どもの情緒と行動に関する25項目(例:「他人の気持ちをよく気遣う」、「落ち着きがなく、長い間じっとしてられない」等)について、それぞれ過去半年間にどれくらい当てはまるかを尋ねた質問で、4歳～15歳を対象に実施しています。この尺度によって専門的な支援が必要かどうかを判定しました。

本資料への収録日：2015年3月31日

改訂日：2020年3月31日